

平成 21 年度中国高校生訪日団第 4 陣が来日

山形、新潟、静岡、岐阜、神奈川で交流

「平成 21 年度中国高校生訪日団第 4 陣（樊建新総団長、杜健副団長、一行総勢 363 名）が、10 月 27 日より 11 月 4 日まで来日した。同団は広東省、黒龍江省、浙江省、雲南省、安徽省、海南省、貴州省、江西省、青海省、広西チワン族自治区の 9 省 1 自治区から選抜されたメンバーで、A コース 192 名を当財団が、B コース 171 名を財団法人日本国際協力センターが担当し各地で交流を行った。

同団 A コースは 10 月 27 日に成田から入国し、8 泊 9 日の日程を東京でスタートさせた。翌 28 日に外務省を表敬訪問し、またセミナー、歓迎レセプションに出席した。外務省では西村智奈美外務大臣政務官が会見し、「同世代との交流を通して、ありのままの日本を理解してほしい」と述べた。質疑応答では高校生から、「今後、中日両国はどの分野で、より親密な関係を築いていけばよいか」「日本はどのように環境問題に取り組んでいるか」などの質問が出された。セミナーでは、青島泰之前ユネスコ東アジア代表・北京事務所長による「中国人と日本人の隣人としての付き合い方」をテーマとした講演を聞いた。続く歓迎レセプションは A、B 両コース合同で行い、西村智奈美外務大臣政務官、山根隆治参議院議員、井上哲士参議院議員、孫建明中国大使館公使参事官ら来賓を含め、総勢 500 名近くが参加する盛大な会となった。両国高校生によるパフォーマンスでは、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校が琴や尺八の演奏を、神奈川県立鶴見総合高等学校がヒップホップダンスを披露。また、中国側は貴州省の民族舞踊を披露し、会場から大きな拍手が送られた。



西村智奈美外務大臣政務官と記念撮影

充実した学校交流とホームステイ

29 日からは 4 コースにわかれて各地を訪問した。第 1 分団は山形県、第 2 分団は新潟県、第 3 分団は静岡県、第 4 分団は岐阜県で学校交流、ホームステイを含む交流を行い、各地で熱烈な歓迎を受けた。また、日程後半には全分団が神奈川県で学校交流を実施した。今回、新型インフルエンザの影響で、急遽、学校交流が実施できず、ホームステイ受け入れのみとなった高校もあったが、各県教育委員会、受け入れ校の協力を得て、山形県 9 校、新潟県 4 校、静岡県 1 校、岐阜県 5 校、神奈川県 8 校の計 27 校での学校交流、ホームステイを実施した。

学校交流では、受け入れ校ごとに工夫を凝らし、通常授業や部活動体験のほか、家庭科で一緒にクッキーを作ったり、音楽の授業でハンドベルを使って「さくらさくら」を演奏したりした。そのほか、書道交流や日中混成チームによるスポーツ親善試合を行うなど、多彩なプログラムに参加し、両国の生徒は英語、時には身振り手振りや筆談を交えて交流を行った。

全プログラムの中でもっとも人気が高かったのは、ホームステイ体験。金曜日の夜から土曜日にかけてホストファミリーと一緒に過ごし、自宅でバーベキューをしたり、蕎麦を打ったり、地域の文化施設を参観するなど、楽しいひと時を過ごした。各地でのホームステイ解散式では、日中の生徒がお互い涙を見せる場面も見られ、双方ともなかなか別れられずにいた。各家庭で心のこもったもてなしを受けた中国高校生は、通常の訪日では体験できない日本の生活・文化を経験できたと喜んでおり、「もっと長くホームステイをしたかった」「日本のお父さんお母さんに家族のように接してもらった」との感想が述べられた。また、ホストファミリーからも「本当に素直でいい子だった」「また、ホームステイを受け入れたい」との声が多く聞かれ、大変好評だった。



書道の授業で、漢字交流

教育庁に表敬訪問

学校交流に先立ち、山形県と新潟県では教育庁を表敬訪問した。山形県教育庁では、山口常夫教育長から「山形県では毎年思い出に残る交流が行われている」と歓迎の辞があり、新潟県教育庁では、昨年に続き武藤克己教育長が出席し、在新潟中国総領事館の設置などについて紹介し「中国は新潟県にとって大切な隣人である」と述べた。両県とも担当者による教育概要の説明の後、高校生から日本の教育システムなどについて質問が出た。

そのほか、各地の名所、山寺、箱根、大滝鍾乳洞などの自然参観や着物着付けやこけし絵付けなどの文化体験、環境・防災施設の見学などを行った。環境・防災施設見学では、いずれも日本の先進的な技術と施設、地方自治体や市民の取り組みに感心していた。

全ての交流プログラムを終了し、Aコース192名は多くの成果を携えて、11月4日に成田より帰国の途に就いた。本事業の実施にご協力頂いた外務省、文部科学省、中国大使館、各県教育庁・委員会、学校関係者、受入関係機関等の皆様に厚く御礼申し上げたい。

(総合交流部)

中国高校生感想

日本を訪問して

●日本に降り立った瞬間、美しく、壮観な景色は、私が中国で想像していたものとは全く違っていました。また、ゴミ箱1つにしても、環境に配慮し、ゴミをきちんと処理している点から、本当の超大国が何たるかを感じ取りました。

●9日間の日程を終えたとき、実際の日本と私たちの想像の中の日本とは大きな開きがあることに気付きました。その開きは印象の良し悪しではなく、日本人の物事に対するきめ細やかな取り組み方、あるいは仕事を疎かにしない精神があっこそ、日本の今のような繁栄があったのだということに気付きました。

●立谷川リサイクルセンターの方たちの仕事への情熱に敬服しました。廃品を利用してきれいなものを作り出すことや、材料ごとにそれぞれ別のゴミ箱に分別し、日本国民全体の環境保護意識を先導して、社会や道路などを更にきれいにしているところは、私たちが見習うべきです。

※日本では東洋文化や西洋文化の影響を受けているものがたくさんありました。その多くは日本独自の文化ではありませんが、外国文化の影響を受けず、日本より先進的な文化を幅広く参考、吸収し、自国の文化を基にオリジナルの文化を作り上げたことが、日本が発展した要因の1つでしょう。

高校訪問・交流の感想

●日本の高校では技術や家庭科などの専門教科、さまざまなグループ活動を通して、生徒の実践力や創造力の育成に重点を置いているところに感心しました。このような教育方法なら生徒を就職させやすいと思いました。

●農業高校では牛や綿羊を飼育している牧場を見学し、自分の手できゅうりやリンゴを収穫しました。大自然に触れると心が穏やかなになるので、快適な環境で勉強できて羨ましかったです。

●日本高校生と一緒に国語の授業に参加しました。授業中、日本高校生に古詩『涼州詞』の中国語の発音を教え、日本高校生はこの詩の日本語の読み方を教えてくれました。最初は発音できずに苦労しましたが、お互い楽しく交流できました。

●学校交流では日本側の心のこもった歓迎を受けることができ嬉しかったです。校内には温かい雰囲気が満ち溢れ、学校側は苦労をいとわず、私たちのためにたくさん豊富なプログラムを準備してくれましたので、大変充実したものとなりました。皆さん、美しい思い出をありがとう！！

●私は美術と家庭科の授業に参加しました。もともと私の苦手な2科目でしたが、美術では漫画を何枚も上手に描けたし、家庭科では日本高校生のジェスチャー混じりの指導のおかげで日本料理がおいしく作れたときには、苦手意識を克服できたようで嬉しかったです。

ホームステイの感想

●日本のお父さんお母さんはとても親切で、まるで日本に私の家族ができたようでした。以前から日本人は親切だと聞いていましたが、自分自身が経験して、初めて日本人の優しさを実感しました。ホームステイはとても忘れ難い体験だったので、日本の家族と一緒に撮ったプリクラやスナップ写真を見るたびに、お父さんお母さんのことを思い出して涙が出てしまいます。

●ホームステイで感じたことは、同じ言葉でコミュニケーションはできなくても、微笑んだりうなずいたり一緒に写真を撮ったりすることで、私たちの間の感情や思いが伝わりました。もっともっと多くの中国人が本当の日本を理解し、もっともっと多くの日本人が本当の中国を理解して、両国の人民の友情が末永く続くといいと思いました。

●ホームステイ2日目、ホストファミリーと一緒に高山祭りと飛騨の古い街並みを見に行きました。日本の古典的な装飾を施した格別美しい大きな山車がたくさん出ているのを見て、感動しました。また、出会ってから24時間も経たないうちに、私たちの間には時間を超越した感情が生まれ、別れるときには涙が止まりませんでした。

これからの私たち

●今回の交流訪問を通して、私は全く新しい日本を知り、日本に対する印象が良くなりました。日本と中国の間にはいがみ合う理由はなく、小さな矛盾から大きな友好を否定する理由もありません。私たち青少年は今後関係を保ち続け、交流を深めて中日友好を促進し、自分の小さな力でも双方の平和のためになるよう自分の責任を果たしたいです。

●日本のゴミ処理場を見学して、日本の環境保護と資源の節約の仕方には驚きました。中国人はこんなに資源を節約していないと思います。帰国したらきっと自分が見聞きしたことを周りの人たちに伝え、みんなに自分から環境保護を始めるように勧めて、世界の資源節約のために自分も貢献したいです。

日本人高校生感想

●私の家にホームステイした中国高校生は、美術が好きで、日本のアニメの話で盛り上がり、とても楽しかったです。それに、どうしても言っていることが分からない時は、絵を書いてコミュニケーションを取りました。とても面白くて分りやすかったです。

●母の提案でお菓子を作ることになり、日本語で書いてあるレシピを通訳して、共に作業しまし

た。一緒に作ったお菓子はとても良い出来栄で、喜びもひとしおでした。

- 受け入れた中国高校生の趣味が、僕と共通して日本の歴史や三国志が好きだということで、一緒にそのゲームをしました。彼がとても喜んでいたので嬉しかったです。
- 彼女が私の家にいた時間は本当に短かったけど、まるでずっと前からの友達みたいな気がしました。今まであまり中国の事を調べたりすることはなかったけど、今回の交流で中国へ行ってみたいなと思いました。こういう交流があることで、国同士が分り合えるようになっていくと思うので、もっとこういう機会があるといいなと思います。
- カラオケに行き、歌って踊りました。私が日本の曲を歌うと、ナイスシンガーと言ってめちゃめちゃ盛り上げてくれました。そしてその子も中国の曲を堂々と歌ってくれました。カラオケで歌いまくっている中、音楽の話や好きな洋楽アーティストの話で盛り上がり、やっぱり日中の中でも音楽の壁は無いんだと思い、それと同様日中には隔たるものは何の無いということに気付きました。
- 私たちは「そば打ち体験」を準備しました。中国でそば打ちをする機会はまったくないそうで、2人とも初めての経験だったそうです。慣れない手つきながらも、とても楽しそうにそばを打つ様子を見て、こちらも嬉しくなりました。
- 日本では、中国に対してどちらかというとマイナスイメージの方が強いと思います。私自身もそうでした。しかし実際にこのステイで感じたことは、私のイメージとは全く異なっていました。かわいくて、オシャレで礼儀正しく、他人への気遣いができる子でした。また、私の家族とも楽しそうに会話していて、明るい子でもありました。一番嬉しかったのが、ステイ後母が、「これからは中国のイメージを変えなきゃね」と言ってくれたことです。私だけでなく家族にとってもいい経験になりました。
- 言葉があまり通じず、もどかしい点もあったけど、別れ際に泣いていた彼女を見て、楽しんでくれたんだと安心することができました。彼女とはこれからも手紙やメールで連絡を取り合えれば良いと思います。
- 中国の生徒がすごく楽しそうに笑顔で話しかけてきたのが一番印象に残っています。こちらがおもてなしする方なのに、何を話していいかも分からず、あたふたしていたら、英語でゆっくりと話してくれました。私は英語が苦手だったけど、単語とジェスチャーで何とか意思疎通ができました。その時の喜びが忘れられません。
- 朝から一緒に朝食を作ったり、日本の文化を体験してもらおうと思い、着物を着たり、買い物をしたりしました。あっという間に時間が過ぎてしまい、お別れの時には彼女は泣いていました。私も自然と泣いていました。先日、Eメールが届き、今度は中国に家族を招待したいと言ってくれたので、次に会える日を楽しみにしたいと思います。

第1分団(山形・神奈川コース)

訪日団:生徒(男子 16、女子 26 計 42 名) 引率者(7 名)

日	曜日	時間	プログラムの内容
10/27	火	午後	成田空港着
			オリエンテーション
10/28	水	午前	外務省表敬訪問
		午後	セミナー「日本人と中国人の隣人としての付き合い方」 前ユネスコ東アジア代表・北京事務所長 青島泰之氏
		夜	歓迎レセプション
10/29	木	午前	山形県へ移動
		午後	立谷川リサイクルセンター参観 山形県オリエンテーション
10/30	金	午前 /午後	学校交流(県立村山農業高校、県立東根工業高校、県立北村山高 校、県立新庄北高校、県立新庄南高校、県立新庄神室産業高校、 県立金山高校、新庄東高校)※県立楯岡高校はホームステイのみ 実施
		夜	ホームステイ
10/31	土	午前	ホームステイ
		午後	ホームステイ
11/1	日	午前	こけしの絵付け体験(将棋の館)
		午後	山寺参観 神奈川県へ移動
11/2	月	午前 /午後	学校交流(県立磯子高校、横浜清風高校)
11/3	火	午前	横浜市民防災センター参観
		午後	江戸東京博物館参観
		夜	歓送報告会
11/4	水	午前	帰国

第2分団(新潟・神奈川コース)

訪日団:生徒(男子 17、女子 20 計 37 名) 引率者(8 名)

日	曜日	時間	プログラムの内容
10/27	火	午後	成田空港着
			オリエンテーション
10/28	水	午前	外務省表敬訪問
		午後	セミナー「日本人と中国人の隣人としての付き合い方」 前ユネスコ東アジア代表・北京事務所長 青島泰之氏
		夜	歓迎レセプション
10/29	木	午前	新潟県へ移動
		午後	新潟県立自然科学博物館参観 新潟県オリエンテーション
10/30	金	午前 /午後	学校交流(県立新潟中央高校、県立新潟西高校、新潟第一高校) ※県立新潟商業高校はホームステイのみ実施
		夜	ホームステイ
10/31	土	午前	ホームステイ
		午後	ホームステイ
11/1	日	午前	新潟県立環境と人間のふれあい館
		午後	着物着付け、紙風船制作体験(新潟ふるさと村) 神奈川県へ移動
11/2	月	午前 /午後	学校交流(県立神奈川総合産業高校、県立橋本高校)
11/3	火	午前	立川市民防災センター参観
		午後	江戸東京博物館参観
		夜	歓送報告会
11/4	水	午前	帰国

第3分団(静岡・神奈川コース)

訪日団:生徒(男子 16、女子 24 計 40 名) 引率者(8 名)

日	曜日	時間	プログラムの内容
10/27	火	午後	成田空港着
			オリエンテーション
10/28	水	午前	外務省表敬訪問
		午後	セミナー「日本人と中国人の隣人としての付き合い方」 前ユネスコ東アジア代表・北京事務所長 青島泰之氏
		夜	歓迎レセプション
10/29	木	午前	静岡県へ移動
		午後	エコプラント姫の沢参観 かつらぎ山パノラマパーク参観
10/30	金	午前 /午後	学校交流(県立下田高校)
		夜	ホームステイ
10/31	土	午前	ホームステイ
		午後	ホームステイ
11/1	日	午前	寄木細工制作体験(箱根園)
		午後	箱根参観 神奈川県へ移動
11/2	月	午前 /午後	学校交流(県立商工高校、県立厚木商業高校高校)
11/3	火	午前	池袋防災館参観
		午後	江戸東京博物館参観
		夜	歓送報告会
11/4	水	午前	帰国

第4分団(岐阜・神奈川コース)

訪日団:生徒(男子 17、女子 25 計 42 名) 引率者(8 名)

日	曜日	時間	プログラムの内容
10/27	火	午後	成田空港着
			オリエンテーション
10/28	水	午前	外務省表敬訪問
		午後	セミナー「日本人と中国人の隣人としての付き合い方」 前ユネスコ東アジア代表・北京事務所長 青島泰之氏
		夜	歓迎レセプション
10/29	木	午前	岐阜県へ移動
		午後	和紙クラフト小物制作体験(日本昭和村) 大滝鍾乳洞参観
10/30	金	午前 /午後	学校交流(県立岐阜農林高校、県立大垣養老高校、県立大垣南高校、 県立斐太高校、県立飛騨高山高校)
		夜	ホームステイ
10/31	土	午前	ホームステイ
		午後	ホームステイ
11/1	日	午前	岐阜東部クリーンセンター参観
		午後	金華山参観 神奈川県へ移動
11/2	月	午前 /午後	学校交流(県立鶴見総合高校、県立保土ヶ谷高校)
11/3	火	午前	池袋防災館参観
		午後	江戸東京博物館参観
		夜	歓送報告会
11/4	水	午前	帰国